

□議員名：高松 秀樹

1 指定ごみ袋について

論点	山陽小野田市の45リットルの指定ごみ袋は20枚入りで468円、宇部市は、20枚入りで210円。その差は258円である。家庭の必需品である指定ごみ袋は安くならないのか。
回答	市民サービスの観点からも、ごみ袋を安くすることは大事な政策と考えているので、改めて調査なり研究をしていく。

2 河川の決壊について

論点	有帆川および厚狭川の決壊はあるのか。
回答	「近年、全国各地で発生している集中豪雨では、河川の増水による被害や堤防の決壊などによる甚大な被害の事例がふえていることから、このような被害はどこでも発生する可能性がある」と認識している」というのが、山口県からの回答である。

論点	決壊したときの浸水想定区域はハザードマップのとおりか。
回答	山口県は、想定し得る最大規模の降雨による浸水想定区域の指定を、改めて進めている。この想定区域が指定されたら、これに基づいて、本市でも新しい洪水ハザードマップを作成し、市民の皆様に配布をする予定としている。

論点	両河川の監視体制はどうか。
回答	有帆川については、千歳橋左岸側に、厚狭川については、厚狭大橋手前の左岸側に水位計が設置されている。流域の市外については、有帆川は宇部市内に2カ所、厚狭川は美祢市内となる3カ所に設置をされている

論点	有帆川の危険箇所を把握しているか。
回答	特定の箇所については把握していない。